

## 昭和49年度 夏季研修会報告(B)

期 日 1974年8月20日, 21日, 22日

場 所 上郡町富満高原

昭和49年度夏季研修会が赤穂郡上郡町富満高原の富満寺・万勝院を中心として行なわれました。参加者30名余で老若・男女楽しい会となりましたが概要を報告します。

### ○第1日(8月20日)

山陽線上郡駅に12時頃着、バスにて鞍居の稗田で下車1時頃より行動を開始、夏の暑い盛りの頃とて、時々是小川の清流に入るなどユックリリズムで登って行く。サボテンの休眠の話や果実を食べて見たり、ナラガシワの大きい葉、ウルシ・ナツグミ・ノグルミ・コパンノキ、美しいウリカエダの果実・フジキ、などを見ながら寺に到着。

夕食後 講演 新見和尚(山菜料理の工夫談)  
当津先生(生物哲学的発想法)

### ○第2日(8月21日)

午前中 講演 室井先生「郷土の雑感」と題して公害植物とされているセイタカアワダチソウ(セイタカアキノキリンソウ)の無実の罪の弁護論や町花制定のむつかしさ、カムルチーのさし身料理の怖い話などを聞く。

つぎに 講演 内波(生物の季節リズム, アメリカシロヒトリの蛹の休眠開始, 解除のしくみ)および座談会。赤穂先生よりキノコの話聞く。

午後 採集会 富満から鍋倉方面へかけて、三日月町への分岐点あたりを歩く。

食用になるショウロ、ハナゴケを採集し、オースト

ラリアから渡来といわれるアリノトウグサとか、ヘラオモダカ、また道ばたでツチアケビ(無葉蘭)の見事なものを採集する。シャクジョウソウを寺の近くの山林中に見る。夕食は和尚自慢の山菜料理を楽しむ。

夕食後 講演 内海先生「千種町の自然」について橋本光政先生「植生の調査」について、それぞれスライドを使用。

### ○第3日(8月22日)

採集会を兼ねて下山、富満から金出地への山道を下る。人数も十数人と少くなってやや淋しくなったが植物の種類はこの沢の方が豊かであった。ムギラン、キエビネ、イワオオバコ、チトセカズラ、サネカズラ、リンボクなどや、西播特産コヤスノキや、珍しいヨコグラノキ(果実)を採集する。キツネノカミソリの球茎があちこちに露出していた。